



ほけんだより

上庄ひいらぎ こども園 9月

9月は防災・救急の日です。

子どもの事故は「あっ！という間」に起きます。

あっという時間は1秒未満です。

ベランダの柵の高さは建築基準法で110cm(最低)と定められています。

しかし4～5歳児は7～11秒で登り、また、0歳～4歳児の子どもの動きの

解析では体勢を崩し転倒するまで0.5～0.6秒、50cmの高さからの

転落は0.3秒との結果が発表されています(産業技術総合研究所)

子どもの事故は見守りだけでは防げません。子どもは転ぶし、高い所に登りたがるもの。事故に繋がらない環境をつくりましょう。



頭部打撲時の処置

出血している場合は

清潔なタオル等で出血部を押さえて止血します。

出血がない場合は

氷嚢などで打撲部を冷やします。

頭をゆすったり無理に立たせるなどは禁忌です。

受診診療科は救急科・脳外科・小児科です。

☆乳幼児期の頭の特徴

乳幼児期の子どもの頭は相対的に大きい。

年齢が小さいほど身長に対する頭の比率は大きく

成人で8等身 6歳で6等身 新生児では4等身。

そのため、頭部の外傷が多い。

頭部が大きいと重心が体の上部にくるため

バランスが悪く転びやすい。

転ぶと大きい頭を打撲することが多い



身長と頭の大きさの比較(成人⇄こども)

以下の時は救急車を呼びましょう

意識がない、呼びかけに反応がない

ぐったりしている

けいれん 麻痺がある

大量な出血 呼吸が苦しそう

おう吐を繰り返す 複視(眼の見え方がおかしい)



頭部打撲後は

24時間は慎重に経過を見ましょう

子どもの救急に #7119 と #8000 !

#7119は、救急車を呼ぶかどうか?迷ったら。

#8000は、小児救急医療電話相談

休日や夜間 子どもの急な病気 での相談。

どちらも医師や看護師へ相談できるシステムです。



☆ 救急車は貴重な命を守る手段です
必要な人が、必要な時、ただちに利用できるように タクシー代わりの使用は禁忌です。